

安全指導だより 7月号

令和8年7月17日（金）
西東京市立田無第四中学校
生活指導部 安全指導係

<7月避難訓練の振り返り>

7月の避難訓練は、「2階の理科準備室からの火災を想定し、全避難で校庭に避難する」というものでした。教科の授業中の訓練だったので、特別教室や体育館など様々な場所からの避難となりましたが、迅速に避難することができました。四中では校庭での点呼完了（全校生徒の生存避難完了）の目標時間を5分00秒と設定しています。速やかに避難するために、校内のどの場所においても、放送の指示を聞いて適切に行動することが大切です。

火災が発生した際、一番危険なのは「煙」です。その煙から命を守るために、1番身近な備えとなるのが「ハンカチ」です。生徒のみなさんは、毎日ハンカチを持って来ていますか？ハンカチを毎日ポケットに入れておくことは、立派な安全対策になります。学校全体で「いざ」というときのための備えを万全にしましょう。

ちなみに、みなさんは階段での避難で意識しなければいけないことを知っていますか？



Q. 階段を使って避難する場合、正しいのは次の2つのうち、どちらでしょう。

- ① 4階から避難する生徒は、なるべく階段の外側を使用する。
- ② 4階から避難する生徒は、なるべく階段の内側を使用する。

ヒントは、①②それぞれの場合を想像してみることです。

みなさんが4階から避難しているときに、他の階から同じ階段を使って人が合流してくるかもしれませんね。そのとき、なるべく避難する人の流れが止まらないのは、どちらの場合か考えてみましょう。



<川や海の水事故に注意しよう>

来週からいよいよ夏休みです。夏休みに入ると、川や海に行く機会が増えるかもしれません。全国的に、遊泳中の事故の多くは夏休み期間中に発生しています。2021年から2025年の5年間で、海での遊泳中に発生した事故のうち、18歳以下の事故者は567名です。川や海での事故を防ぐために、事前に天気予報を確認して天気の良い日に遊ぶ予定を立てたり、遊泳禁止場所には近づかないようにしたりして、安全にマリンスポーツを楽しみましょう。

Water Safety Guide →

（海で安全に遊ぶための）



海の事件・事故は「118番」!!

きんきゅうつうほうようでんわばんごう

～118番は海上保安庁が運用する海の緊急通報用電話番号です～

（東京海上保安部リーフレットより）

<落とし物のお知らせ> 落とし物ロッカーの場所:校長室前

水筒・キーホルダー・腕時計・タオル・靴(片方だけ)・靴下・ハンカチ・Yシャツ・パーカー・
日焼け止めクリーム・筆箱など

<落雷から身を守ろう！>

近年、中学生の屋外での活動中における落雷事故が発生しています。落雷から身を守るために、留意すべきことを確認しましょう。

- ①厚い黒雲が頭上に上がった際には、雷雲の接近に注意する。
- ②かすかでも雷鳴が聞こえる際には落雷の危険がある。
- ③落雷の危険がある場合には、すぐに安全な場所（鉄筋コンクリートの建物、自動車、バス、列車等の内部）に避難する。

このほか、気象庁ウェブサイトにおいて、雷注意報等の発表状況や、雷発生の感応性の高い地域が地図上で確認できるものも提供されているので、こうした情報も活用していきましょう。



引用元：気象庁「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

表面のQの答え：② 上の階の人が内側を通ると、下の階の人が外側から合流できます。